

第4章 公害苦情

第4章 公害苦情

1 概 要

平成 29 年度の公害苦情受付件数は 283 件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が 91 件と最も多く、次いで大気汚染、水質汚濁、悪臭、振動の順となっています。（図 4-1-1、図 4-1-2）

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課や各区役所のまちづくり推進課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。今年度の各区役所のまちづくり推進課が対応した公害苦情は、21 件でした。

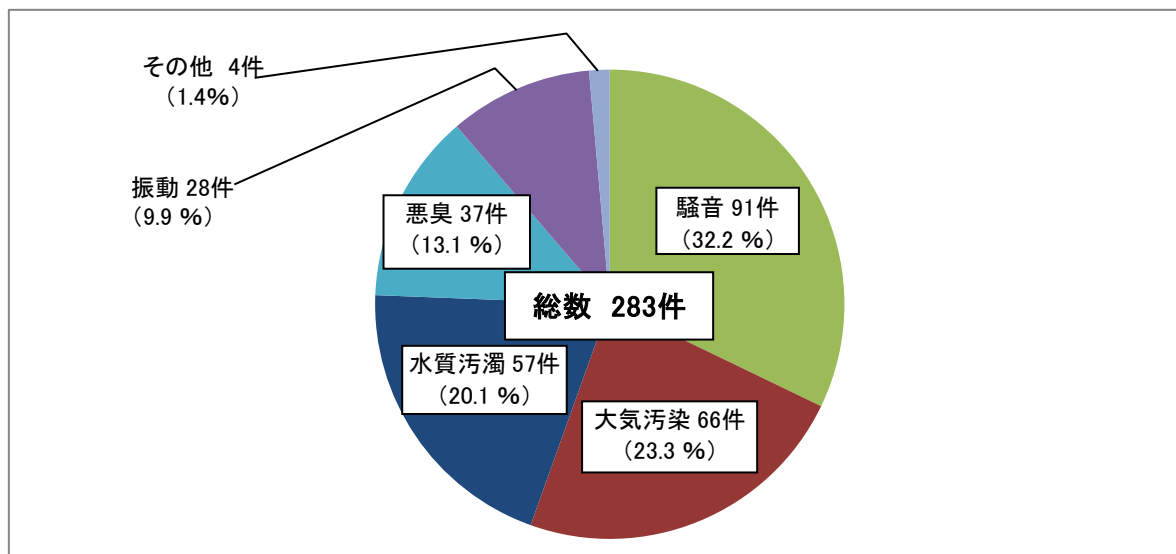


図 4-1-1 公害苦情の内訳(平成 29 年度)

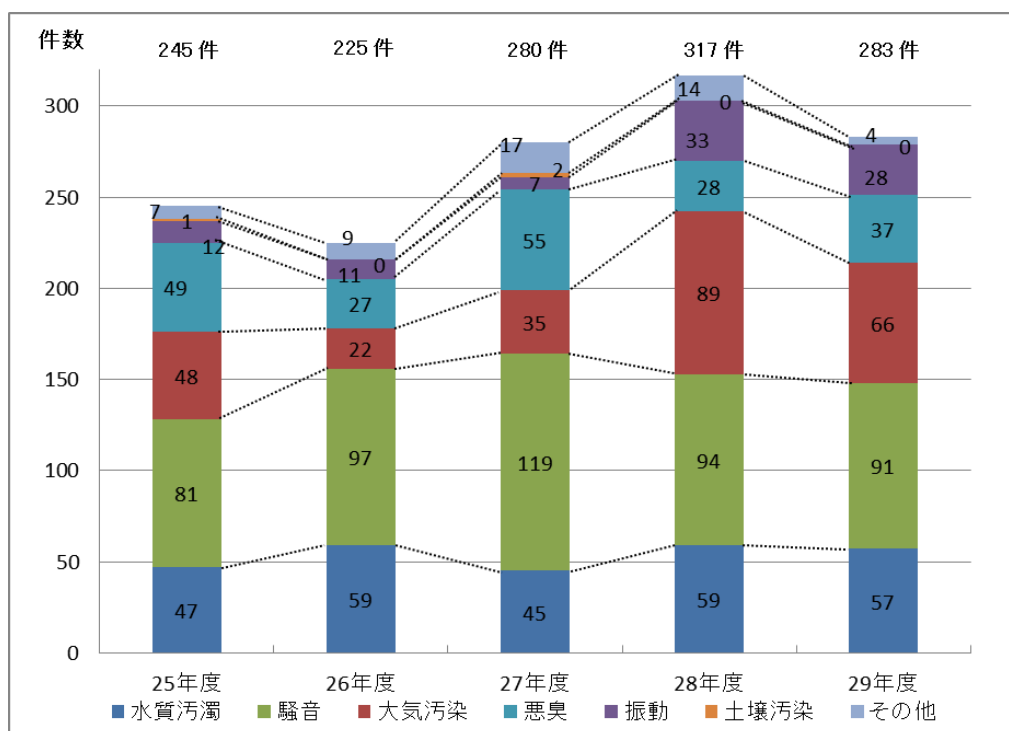


図 4-1-2 公害苦情件数の推移(平成 29 年度)

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は 66 件で、苦情全体に占める割合の 23.3%でした。

発生源の主な原因は、建築物からのアスベストによるものが 30 件と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが 25 件でした。また、廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は 91 件で、苦情全体に占める割合は 32.2%でした。

発生源の主な原因は、建設・解体作業に伴う騒音が 61 件と最も多く、次いでサービス業の事業活動に伴う騒音が 9 件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は 28 件で、苦情全体に占める割合は 9.9%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が 25 件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は 37 件で、苦情全体に占める割合の 13.1%でした。

発生源の主な原因は、民家での野焼き等による臭いが 9 件、サービス業の事業活動に伴う臭いが 8 件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、製造業、農業、卸売・小売業・飲食店、運輸・通信業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が 14.5%と、依然として一定の割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染、騒音、悪臭の発生源は特定できないケースが比較的多いためです。(表 4-1-1)

表 4-1-1 公害苦情の発生源業種(平成 29 年度)

公害の種類 業種	水質 汚濁	大気 汚染	騒音	振動	悪臭	土壌 汚染	その他	合計	
								件数	構成比(%)
農業	2	1	2	0	4	0	0	9	3.2%
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
漁業・鉱業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
建設業	5	45	61	25	0	0	1	137	48.4%
製造業	7	2	4	0	3	0	0	16	5.6%
電気、ガス、熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
運輸・通信業	3	0	0	0	1	0	0	4	1.4%
不動産業	3	0	0	0	0	0	0	3	1.1%
卸売り・小売業・飲食店	1	0	2	0	3	0	0	6	2.1%
サービス業	4	7	9	0	8	0	2	30	10.6%
医療・福祉	0	0	3	0	0	0	0	3	1.1%
学習支援・公務	0	0	3	1	1	0	0	5	1.8%
家庭生活	0	11	7	1	9	0	1	29	10.2%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
不明	32	0	0	1	8	0	0	41	14.5%
計	57	66	91	28	37	0	4	283	100.0%